



## 「プレパラトリア」を見学して

大気汚染のため臨時休校となった5月17日（金）は、リセオメキシココース高校3年生の最終登校日でした。昼食時に校庭「かまぼこドーム」で簡単なプレパラトリア（高等部）卒業のお祝いの会が開かれました。日本コースの職員も招待されていたので参加させてもらいました。

タコス屋さんが来ていて、楽団が演奏していました。おいしいタコスを食べながら演奏を聞き、楽しい雰囲気の中、まず担任の先生のスピーチがあり、続いてお世話になった先生方のスピーチが続きました。生徒たちはスピーチに反応して場を盛り上げていました。続いて代表の生徒たちのスピーチへと続きました。最後に生徒たちは肩を組み円陣になって、何曲もみんなで合唱していました。

リセオの高校生たちはシティーの中でもとても優秀と聞きますが、その高校生たちを身近に感じる事ができて、やはりとてもしっかりしているなあと感心しました。同時にそんなリセオの高校生たちが、日本コースと交流を重ね、日本語を学習し、日本の文化を学んで卒業していってくれることに、心から敬意を表したいと思いました。同時に、この子らが将来、日本とメキシコをつなぐ架け橋となって、グローバルに活躍する人材となってくれることを心から願いました。

## オアステペック林間学校が無事終了しました

5月29日（水）から31日（金）までの2泊3日で行われた、オアステペック林間学校が、無事終了しました。参加した小学3年生から中学3年生たちは、それぞれに大きな思い出とともに、確かな成長の足跡をのこし、オアステペックを後にしました。この行事は、日本コースが開校した当時から続いていると聞いています。小学生は宿舎に泊まりますが、中学生は野外でテント生活をし、自炊をします。宿泊場所は離れますが、縦割り班でレクリエーションをしたり、カレーライスを作ったり、キャンプファイヤーをしたりして、小3から中3までの交流を深めます。

2日目に予定されていたキャンプファイヤーが、雷雨のため途中で中止になったことはとても残念でしたが、他は予定通り行うことができました。子どもたちは主体的に動き、また協力して活動することができました。学年を超えて、日本コースで共に学ぶ仲間としての連帯感が深まりました。最終日、昼食の縦割り班で作ったカレーライスがとても美味しかったことや、マンゴの皮をバナナのようにむき、マンゴのバナナかじりを生まれて初めてしたことや、子どもたちが何度も何度も挑戦した末に、ついに5mの高さからの飛び込みを成功させ、周りの友だちから大きな拍手を受けていたことなど、印象的な出来事がたくさんあった3日間でした。